

4. ヒキガエルの集合行動

1) 調査方法

西久保において繁殖期に集合するヒキガエルの数を数えた。調査は2000年を予備調査とし、2001年から2004年までの4年間実施した。

まず、3月に入ると雨が降るたびに西久保の池に行きヒキガエルの集合行動の始まりを確認した。調査はヒキガエルの集合行動が始まるようになるべく毎日実施するようにし、ヒキガエルが見られなくなるまで続けた。調査方法は、20時から21時の間を目安に田んぼを一周し、現れたヒキガエルを♂と♀別にダブルカウントしないように注意して数えた。

2) 調査結果

予備調査も合わせ結果を表I-6に示した。

2000年から2004年までの5年間でヒキガエルが見られたのは、3月16日から4月12日までであった。このことから西久保田んぼにおけるヒキガエルの繁殖期は3月中旬から4月中旬と考えられる。これはヤマアカガエルが産卵を開始するほぼ1ヶ月後にあつた。

1日で一番多くヒキガエルを数えたのは2000年4月6日の275頭であるが、毎年最高数を数えたのは約200頭であった。集合行動が見られるのは10日前後で、雄が先に集合し、最後まで雄が残っていた。雌がみられたのは1週間以内だった。また、始まりが早い年の方が集合する期間が長い傾向がみられた。

なお、ヒキガエルの集合、解散や産卵時間などは、その繁殖地によって様々であるが、西久保は人による影響が大きいのかカラスなどの捕食者を避けるためなのか不明であるが、昼間は1頭も見られなかった。また、産卵開始時間も23時頃からが多く遅かった。

表I-6 ヒキガエルの集合状況

	2000年			2001年			2002年			2003年			2004年		
	♂	♀	合計	♂	♀	合計	♂	♀	合計	♂	♀	合計	♂	♀	合計
3月16日	-	0	0	0	1	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-
3月17日	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
3月18日	0	0	0	0	53	3	56	-	-	-	-	1	0	1	-
3月19日	-	0	0	0	79	1	80	-	-	-	-	-	-	-	-
3月20日	0	0	0	0	146	23	169	-	-	-	-	-	-	-	-
3月21日	0	0	0	0	168	29	197	-	-	-	-	-	-	-	-
3月22日	-	4	2	6	129	12	141	-	-	-	-	-	-	-	-
3月23日	-	0	0	0	77	4	81	-	-	-	-	-	-	-	-
3月24日	-	-	-	-	61	2	63	0	0	0	0	0	0	0	0
3月25日	0	2	1	3	20	1	21	7	1	8	-	-	-	-	-
3月26日	0	2	1	3	25	0	25	13	0	13	0	0	0	0	0
3月27日	-	1	0	1	13	0	13	86	17	103	-	-	-	-	-
3月28日	-	-	-	-	7	0	7	125	18	143	0	0	0	0	0
3月29日	1	50	0	50	4	0	4	123	13	136	-	-	-	-	-
3月30日	-	150	-	150	2	0	2	184	14	198	28	3	31	-	-
3月31日	-	85	6	91	0	0	0	112	3	115	1	0	1	-	-
4月1日	-	173	16	189	0	0	0	49	0	49	2	0	2	-	-
4月2日	-	180	10	190	-	-	-	12	0	12	20	4	24	-	-
4月3日	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-
4月4日	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	71	10	81	-	-
4月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	181	23	204	-	-
4月6日	275	16	2	18	-	-	-	-	-	-	111	12	123	-	-
4月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	1	35	-	-
4月8日	合戦盛期	0	0	0	-	-	-	-	-	-	4	0	4	-	-
4月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-
4月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4月11日	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4月12日	1	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-

※ -印は、未調査を表す。